

財政事情に関する公表書

豊能町の令和4年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和5年2月1日

豊能町長 塩川恒敏



我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しています。

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要があるところです。

本町では、人口の減少や少子高齢化、地価の下落等によって、主要な自主財源である地方税の減少傾向が続いており、依然として歳入の70%近くを地方交付税などの依存財源が占めており、依存度がますます高まる状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが、一斉に更新時期を迎えるなど、歳出面でも今後の財政負担が増加する傾向にあり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

このように厳しい財政状況の中、最終年度となる「豊能町行財政改革プラン2019」による、事務事業の廃止・縮小、類似する事業の統合を今後も続けていくと共に、小中一貫校の整備や公共施設の再編により、施設の改修、修繕費や維持管理費の削減を行い、経費の圧縮を図っていき、基金の取り崩しに頼らない健全な財政運営を目指します。

令和4年12月末現在における令和4年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み95億7,971万1千円、当初予算から26億5,297万8千円の増、前年度同期と比較して8億4,376万9千円、9.7%の増となっています。

令和4年度一般会計の4月から12月の収入済額は、56億7,138万5千円、前年度同期と比較して、5.3%の増であり、支出済額は、43億8,514万7千円、前年度同期と比較して、1.3%の減という状況にあります。また、支出の執行率は45.8%で、前年度同期より5.1%下回っています。

令和4年度の一般会計及び特別会計における4月から12月までの予算執行状況は別添のとおりです。